

□ トピック □ サルモネラ菌とネズミ

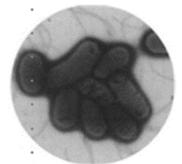
先月まで韓国で開催されていたアジア大会での、日本人選手の活躍は記憶に新しいかと思いますが、その大会中に選手用の弁当からサルモネラ菌が検出されたことをご存知でしょうか？幸い、選手たちが口にする前に、弁当が回収されたため食中毒による被害はありませんでしたが、原因は特定されていません。

サルモネラ菌はネズミを含む動物(両生類、爬虫類、鳥類、哺乳類)の糞尿中や、鶏卵の殻に含まれている菌です。サルモネラによる食中毒は、戦前には死者が40名を超える大規模な食中毒事件が起きるなど大きな問題となっていました。食品工場内などの衛生環境の改善により、ネズミの生息数が減少しており、近年ではそういった事件はあまり耳にしなくなりました。

こうした現状を受け、「サルモネラ菌＝ネズミ」という風潮は薄れつつありますが、依然としてネズミによるサルモネラ食中毒の被害は報告されており、油断は禁物です。特に今の時期、ネズミは餌がある暖かい場所を目指して屋外から屋内への侵入が活発になります。今までネズミがいなかったのに、いつの間にか住み着いてしまっていることもありますので注意が必要です。事件が起きてからでは間に合いませんので、早め早めの対策が重要です。



クマネズミ



サルモネラウィルス

□ お知らせ □ どうする！？ネズミの侵入対策

ネズミの防除を行う上で、粘着捕鼠板などさまざまなツールがありますが、ネズミは警戒心が強く、これらをただ闇雲に設置するだけではよい効果が得られないこともあります。

弊社では、より効果的・効率的にネズミの防除を行う「防鼠管理システム」を提供しています。具体的には、まず、生息範囲や侵入経路を特定するためのモニタリング調査を行い、その結果をモニタリングレポートとしてまとめ、どこで、どの種の活動が見られたか、設備にどのような問題点があるかをプロの目で見て明らかにします。そして、結果に対する対策として捕鼠材やネズミの侵入口となる隙間の閉塞工事など適切な防除施工を選択することで効率的な防鼠管理を行っております。また、ご予算に応じた施工や、資材・機材の販売、レンタルも行っておりますので、何かお困りになられていることなどございましたら、お気軽にご相談ください。



捕鼠版



防鼠ブラシ

捕獲種	エリア	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
ドブネズミ	幼鼠													
	成鼠													
クマネズミ	幼鼠													
	成鼠													
ハツクネズミ	幼鼠													
	成鼠													
その他														

モニタリングレポート

□ 豆知識 □ 冬に咲く桜

皆さまは桜という言葉からまず何を連想しますか？多くの方が桜の舞う春をイメージすると思います。春になったら花見をするように「桜＝春」というイメージがありますが、実は冬に咲く桜もあることをご存知でしょうか？

桜といってもさまざまな種類があり、私たちが花見で目にする桜のほとんどはソメイヨシノです。ソメイヨシノは年に1回、春に開花するのに対して、春の1回に加えて10～11月にも咲くフユザクラやジュウガツザクラという種もあります。これらの冬桜はちょうど紅葉の季節に開花するため、両者を見ることが出来る場所では、春の花見とは違った雰囲気を楽しむことができます。

また、ソメイヨシノもフユザクラなどのように10月頃に開花することがあります。これは「狂い咲き」と呼ばれ、夏のうちに台風や毛虫などによって葉がなくなり、その状態で秋を迎えた場合に起こることがある現象です。桜の花芽は夏の間でできていますが、冬の低温に備えるために葉から休眠ホルモンを出して開花を抑制しています。しかし、早くから葉を無くしてしまっている場合、休眠ホルモンが供給されないため、秋の温暖な気候を春と勘違いしてしまうことがあります。

植物には目も耳もありませんが、実際はとても外環境に敏感に反応していて不思議なことがたくさんあります。普段何気なく見ているものでも興味を持ってみると、新たな発見があるかもしれません。



総合衛生コンサルタント・生物害防除

東洋産業株式会社

URL: <http://www.to-yo-s.co.jp>

本社：岡山県岡山市北区新屋敷町3-19-20

TEL(086)241-8080 FAX(086)241-8094

拠点：大阪、姫路、岡山、倉敷、福山、広島、高松、松山
関東(市川)